

甚目寺西児童館

【活動内容】

- ・行事の定員・年齢を見直して、行事に参加できる人数を増やしていった。
- ・居心地の良い児童館を目指し、利用者同士が交流できるように話しの中に入ったり、利用者の中にグループができている時は、他の利用者が居心地悪く思わないように適度な距離を保ちながら声を掛け利用者の様子を見守るようにした。
- ・小学生の事業は、子どもの意見を取り入れて遊びが充実するようにはしたり、子どもが参加しやすい曜日に行事を実施した。

【反省・課題】

- ・利用者のニーズに応じて、英語の挨拶を取り入れたり、幼児室に行く時に掛け声をかけたり、幼児室の玩具を充実させたことで、来館人数を増やすことができた。しかし利用者同士の育児方針の違いで雰囲気が悪くなってしまいうこともあったので、育児方針が合わない利用者同士が一緒になったときの対応を検討していく。
- ・小学生の事業では、来館した際に次の行事のお知らせをみせることで、行事に興味を持たすことができたが、友達との約束・ならい事等の関係もあり、参加が思ったより増えなかった。

【次年度へ向けての方針】

- ・複合施設のメリットをいかして、お年寄りと関わる行事をコロナの状況をみながら取り入れていく。
- ・利用者と良好な関係を築き、それぞれの育児方針、家庭環境によりそい、皆が施設を楽しく利用できるように努めて、来館者数の増加につなげられるようにしていく。
- ・小学生の事業では、子どもが来館した時に掲示を見る習慣がついていないので、目がいくような掲示方法にし、行事の周知をしていく。